

# 中 咲 (人権通信)

発行  
令和5年11月29日  
徳島市富田中学校  
人権教育担当

## 今月のフォーラム

R5/4/5徳島新聞「年齢で制約やめよう」～自分も他人もあるがまま～  
これらの記事を読んで…



Q. 年齢による思い込みや偏見で人を判断したり、されたりした経験はありませんか？

また、自分の行動が相手にとって、年齢による差別になるのか、思いやりになるのか…、

どのように考えますか？あるがままの存在を互いに認め合うために、自分には何ができるだろう？

### <1年生の意見より>

・もちろん、高齢者の方に親切にすることは大切だと思います。でも、それは自分の思いこみで、相手からしたら迷惑なのかもしれません。おたがいが理解し合うために、意見を発して、それをより多くの人に知ってもらいたいです。

・この記事を読んで、高齢者の方に何でも手伝ったりしてしまうのは、本当に相手が望んでいることではないときもあると気づきました。だから、勝手な決めつけや思いこみで判断するのではなく、状況に応じて相手にとって一番いい行動ができるようにしていきたいです。

・周りが気を遣ってあげたつもりでも、本人が良く思わないことは、年齢だけにとどまらず、性別・容姿・名前等もあります。私も友達と同じようなことがあって、ケンカをしました。このミゾは相手のことをよく理解することで埋まるため、相手のことを理解していこうと思いました。

・自分が思いやりだと思って発した言葉や行動が、エイジズムという差別になってしまうことを初めて知りました。若いから、お年寄りだからという見方ではなく、その人本人を見て判断し、行動することが大切だと思いました。

・僕は、年齢による思い込みや偏見で人を判断したり、されたりしたことがあります。それは人が「自分らしく生きる」ことの邪魔をしていると思いました。こういう行いで辛くなっている人がいるということがわかったので、これからは年齢による思い込みや偏見で人を判断するのはやめようと思いました。

・「年齢」による思い込みは意外と身の回りに多い。それ

が差別になるのか「思いやり」になるのかをしっかりと考えて行動したいと思う。いろいろな世代の方たちと話したら、理解を深めて認め合うことができると思う。年齢による差別をしていないか気を付けたい。

### <2年生の意見より>

・電車やバスで席をゆずるのは、思いやりが多いと思うけど、でもやっぱり見ただ目で判断してしまうことが多いと思う。しかし、年齢で判断されるのが嫌だという人もいるので、その人の状態を感じて判断することが大切だと思った。年齢を理由に制約してしまうのはもったいない。自分も他人もその人にしかできないことがあるのだから、安全に配慮した上でチャレンジしていくとよいと思う。

・私は思い込みや偏見で人を判断してしまったことがあったので、これからは年齢で判断したり、言ったことが相手にどう考えられるかを考えたりしていきたいです。自分は思いやりでしたことでも、相手にとっては差別と感じられるかもしれないということを考えながら生活していきたいです。

・この記事を読んで、人と人との間のコミュニケーションがもっと必要じゃないかと僕は思いました。なぜなら、思いやりとしてしたことが相手にとって差別だと認識される場合もあるから、すべて自分で決めつけないようにしたい。そうすれば、世代や年齢の考え方の違いも解決できると思う。

・「エイジズム」という言葉を初めて知った。自分は思いやりだと思っていることも相手からすると差別だと思っていることがあるんだと新しい考えを知ることができた。

「〇歳だから」という考え方をやめてどんどん新しいこと、自分のしたいことに挑戦していきたいと思った。

・年齢で差別するのは悪いことだけれど、思いやりの気持ちですること差別と思われるかもしれないというのは難しいと思った。いろいろな世代との交流が深くなれば、相互理解も深まって、お互いのことをもっと知って、偏見も減らせるのではないかと考える。

### <保護者・教職員の意見より>

・年齢による思い込みは自分にもあります。他人に対して勝手に判断してしまうこともあれば、自分を縛っていることもあります。人それぞれ思いや考えは違うので、やはりお互いを理解しようとするのが大切で、思いやりのつもりでも相手がそう受け止めてなかったら、考えをきちんと伝え合うことが必要だと思います。

・相手の見た目(状況)や年齢で配慮を考えることはとても大切なことだと思う。ただ、自分には思い込みや偏見は全くないと思わず、少し立ち止まって考えてみてから行動にうつすことも大切である。そうすることで自分にはない価値観を認めることにもつながるかもしれない。

・年齢による思い込みで人を判断した経験はある。しかもげんざいしんこうけい(現在進行形)で。その対象は生徒だ。授業の中で時折、生徒から私の想像を超える意見や発想が出される。そのとき、私自身が生徒を「14歳、15歳の子ども」という枠に当てはめてしまっていることに気づかされるのだ。たしかに子どもらしい部分もあるが、年齢という枠にとらわれずに生徒の可能性をもっと信じていきたい。

・年齢、性別、趣味、嗜好によって差別したり、偏見の目を向けたりせず、ひとりひとりを尊重し、大切にできる人でありたいです。私もGoing my wayで生きていきたいので周りの人の考え方、生き方も、それぞれにOK!だと思っています。ただ、お互いに思いやりは忘れないでいたいと思います。

・相手が何歳であろうと、その人を「尊重」することが大切だと思う。2歳の息子ですら、しっかりと意志をもって自分の思いを表現しようとしている姿を見て、「1人の人間として尊重されるべき存在」だと常に思われている。年齢関係なく、公平、対等に対話できる社会にしたい。

・「いい年して、~している」などの偏見を実際に判断した経験があっただけに身に詰まらせるような思いになった。さらに良かれと思って席を譲ったり、力仕事を率先してい

ったりすることも、相手の捉え方次第という視点もなるほどと思う。今後は一言「譲りましょうか?」等かけることで、相手がどうしたいのかを確認していく。

・私自身もこの記事を読んで、見ただ目で判断している場面が多いと感じた。若いから仕事が出来ないだろう、老人だから困っているだろうと勝手に決めつけているが、実際に深く関わってみると必ずしもそうでないと思うことがある。お互いを理解し、認め合うためにも、勝手な決めつけをせずつけをもちたいと改めて感じた。

・私も20代は早く結婚しなさいや年相応の服装をしなさいなど言われた経験があります。学生時代を海外で過ごしたこともあり、日本より年齢のことを気にせず何歳からでもチャレンジでき、見ただ目で判断されない環境はすごく居心地が良かったです。日本ももっとそうってほしいし、子供たちには、年齢にとらわれず、そして他人のことも認め大人になっていってほしいと思います。

・各世代間で年齢による思い込みや偏見はあるなど私は思っていた。私自身も場面で固定観念にとらわれていたと気づかされた経験がある。「あるがままの存在」をお互いに理解できる世の中になるために、まずは自分のあるがままを受け入れたい。

・「エイジズム」この言葉を聞いて真っ先に思い浮かべたのは若宮正子さん。彼女は80歳で初めてプログラミングを学び、ゲームアプリを製作した方です。若宮さんが「自分の未来にフタをしちゃいけない」「何歳からでも人は変わる」と話されています。記事にあるように、自分自身のバイアスに気づくことが、自分も他の人もその人らしく幸せに生きていくことにつながると感じました。

